

「社会保障」に対する人々の理解の現状（イメージ）

社会保障に関する「正しい事実」や「大切なこと」が見えにくく、きちんと伝えられていない状況

社会保障制度やその持続可能性に対する不安・不信

社会保障の本質・意義、課題等

誤解・無関心・先入観 等

- ✓「少子高齢化だし、どうせ年金は破綻するんでしょ」
- ✓「自分で備えた方がマシだよな」
- ✓「社会保険料負担が重すぎる」
- ✓「国のやってることなんて信用できない」
- ✓「私たちは負担ばかりで受益はない。高齢世代に偏った制度は変わらない」…

→大人（先生、親等）の理解が子どもへ伝わる

教育面からのアプローチをご議論

論点①

社会保障の「現状」について

- ◆ 何が、どう誤解されているのか
- ◆ どうして無関心なのか
- ◆ 教育の現状の検証
 - ・学校教育の場
 - ・厚生労働省のこれまでの取り組み

論点②

社会保障の「何を」学んでもらうべきか

- ◆ 社会保障の理念
- ◆ 社会保障の役割と機能
- ◆ 社会保障の種類と概要
- ◆ 給付と負担の概念
- ◆ 身近な社会保障制度の仕組み
- ◆ 社会保障制度の課題と今後 …等々

論点③

副教材の作成

- ◆ 「どう」学んでもらうべきか。効果的な表現、学習方法は
- ◆ 教材活用マニュアルの作成

論点④

作成した副教材の活用、今後の展開等

- ◆ 全国の先生方への周知方法等、副教材の活用に向けて
- ◆ 実習と組み合わせた地域での社会保障教育の試行事業について

反映